

繋がりが終わった後の「つながり」 ～4年ぶりの秋祭り～

足立区江北の特別養護老人ホームハピネスあだちはこの日、コロナの感染拡大以来、4年ぶりの秋まつりが開催されました。秋晴れの中、入居者やその家族がイベントを楽しむその一角。「家族会カフェ」の看板がありました。これはその名のとおり、ハピネスあだちの家族会の皆さんが運営するカフェです。

家族会会長の野田さんにお話を聞くと、実は、ハピネスあだちに入居されている家族だけでなく、ご家族が退去された後も家族会メンバーとして活躍されているとのこと。活動の様子を早速取材しました！



カフェは多くの人でにぎわいます。秋まつりの別会場ではステージが開催されており、その合間にカフェで一息つくことができます。



メンバー同士で活動の合間にコロナ感染拡大前の「秋まつり」を思い出していたようです。まるで次の活動を心待ちにしているようにも思えました。



ある家族会の方は「入居していた家族は亡くなったけど家が近いから手伝いに来た。皆と話すのも楽しい。」とつながりはまだまだ強くなりそうです。

取材日：令和5年10月22日 参加者数：33名

取材メモ：地域に以前のような盛り上がりが見えてきたように感じます。人と人とのつながりも以前以上になるといいなと思います。（足立社協 西部地区担当）

問合せ先：地域福祉課 ☎6807-2460 FAX5681-3374